

令和元年度 事業報告書

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

1 事業の成果

令和元年度は、既存事業を継続実施するとともに、ふれあいボランティア体験学習 (FV) を通じた『人間力』育成について、継続学習の検証・考察を行い、また、新たな取り組みとして幼児期に向けたツールの開発を行った。

青少年期のFV継続学習の検証・考察については、神崎市新成人VA調査の第一段階〔新成人全員が小・中学校で9年間FV及びFVPを体験〕の総まとめを行い、FVPの有効性を改めて確認することができた。また、青少年期のFVの指導者のレベルアップを図るSVSにおいては、FVの事例提供とプログラム作りの場を提供することができた。

新たに取り組む幼児期のFVについては、幼児と親 (保護者) の生活のなかでの取り組みを“ちょいボラ”と位置づけ、ハンドブック (『親子で“ちょいボラ”』) 制作に向けてコンテンツを作成した。

青少年期の地域活動においては、SVC普及事業を通じて、全国公民館連合会、日本更生保護女性連盟、社会教育団体振興協議会、日本青年団協議会等への働きかけ、SVCの必要性を周知することができた。

以上により、FVを通じた『人間力』育成について幼児期から青年期まで一貫した事業展開と普及ツールを整えることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 3,139 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費 (千円)
遊びやボランティア活動、体験学習等を通じた青少年健全育成事業	ふれあいボランティア体験学習 (FV) 普及・啓発事業 1. ふれあいボランティアサポート (FVP) 事業 ① FVP参加校・団体数156。参加児童・生徒数37,891人 ② FV感想文募集 1) 感想文応募 (小学校13校、中学校5校、高等学校4校、1団体、計719人) 応募者数が過去最大。FV大賞1人、小学生賞7人、中学生5人、高校生賞3人を表彰 今年度、感想文集に受賞した児童・生徒の顔写真を掲載し、1,500冊を作成配付。また、SSCホームページに掲載 2) 学校賞 (表彰状) 5校に贈呈 感想欄回収率による学校賞 (表彰状) を大規模校3校、中規模校1校、小規模校1校に贈呈 ③ 幼児と保護者を対象にした人間力育成ハンドブック (A5版『親子で“ちょいボラ”』) テスト版100冊を作成	4月~10月 10月~3月 3月 6月~3月	法人事務所 法人事務所 法人事務所	6人 6人 5人	① 全国の小中高特別支援学校・青少年健全育成団体等不特定多数 ② 1) FVP参加校・団体の児童・生徒、感想文集配布・紹介 (FVP参加校・主催及び関係団体等イベント配付・ホームページ掲載) より不特定多数 2) 受賞校5校	①② 38,000人 ③ 2,000人	2,165
	2. 新成人ボランティア活動アンケート調査研究事業 ① 1月12日、佐賀県神崎市新成人VAアンケート調査を実施 会場：神崎市教育委員会の協力を得、成人式会場 (はんぎーホール) にて実施。アンケート対象者273人。回答者135人 (50%) ② 神崎市新成人VA調査分析・まとめ 小・中学生時代FVPに取り組んでいた新成人は現在65.2% Vに取り組んでいることを確認 (参考：平成28年度社会生活基本調査：20歳~24歳19.2%) ③ 1月12日、神崎市教育委員会学校教育課係長・青少年育成市民会議事務局長Vヒアリング調査を実施 ④ 1月17日電磁的方法による神崎市小・中学校V調査を実施	1月12日 1月~3月	佐賀県神崎市 (はんぎーホール) 法人事務所	3人 4人 2人 1人	神崎市市民	34,000人	
	スクールボランティアサミット (SVS) 事業 ① 全国のFVを実施する教員・指導者等に対する研修会 SVS2019 (第8回) を開催 参加者117名。(東京都奉仕・V教育研究会と共催) ② SVS2019の実施内容を紹介する写真をホームページに掲載	8月7日 8月~3月	東京都立豊多摩高等学校 法人事務所	20人 1人	全国の小中高特別支援学校の教員・青少年健全育成団体等の指導者、一般市民の不特定多数	117人	
フォーラム・講演会・研修会・コンサルティング・講師派遣等の普及啓発事業 青少年地域ボランティアサークル活動 (SVC) 普及事業 ① 5月30日、都立椏ヶ丘高等学校のサビオス・ラーニングの授業にて、SVCの普及啓発実施 (80人×6回授業) ② 6月18日、12月3日、國學院大学渋谷校の科目「Vと社会参加」の授業で1~4年の受講生にSVCの必要性及びSSCの活動の講義実施 (40人×2回) ③ 10月3日、日本更生保護女性連盟中央研修会において、SVCの必要性について講演実施 ④ 全国公民館研究集会東京大会に参加 (田中雅文理事他2人) SV及びSVCの必要性をアピール	5月30日 6月18日 12月3日 10月23日 1月29日	都立椏ヶ丘高等学校 國學院大学 同 アワードイ市ヶ谷 国立青少年総合センター	2人 1人 2人 3人	都立椏ヶ丘高等学校2年生受講生 國學院大学渋谷校「ボランティアと社会参加」受講生 更生保護を担う女性ボランティア 全国の公民館関係者	500人 80人 165,000人 100人	268	
広報事業 ① 1月9日、中央青少年団体連絡協議会・社会教育団体振興協議会 新年互例会にてSSCの活動を紹介 ② SSCホームページを充実及、上記の事業に関する情報を発信	1月9日	日本青年館	2人	中央青少年団体	100人	129	

令和元年度 活動計算書（その他事業がない場合）

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター
(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	経常収益		
1	受取会費		361,000
	正会員受取会費	112,000	
	賛助会員受取会費	249,000	
2	受取寄附金		2,072,087
	受取寄附金	2,072,087	
3	受取助成金等		0
	受取助成金	0	
4	事業収益		141,000
	事業収益	141,000	
5	その他の収益		18
	受取利息	18	
経常収益計			2,574,105
【B】	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		3,139,603
	諸謝金	104,137	
	印刷製本費	263,062	
	会議費	10,000	
	旅費交通費	76,099	
	通信運搬費	383,769	
	地代家賃	1,517,280	
	水道光熱費	107,489	
	消耗品費	108,997	
	保険料	5,125	
	リース料	77,760	
	諸会費	50,130	
	新聞図書費	18,125	
	支払手数料	214,954	
	支払寄付金	200,000	
	雑費	2,676	
事業費計			3,139,603
2	管理費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		62,790
	印刷製本費	2,160	
	旅費交通費	5,600	
	通信運搬費	4,422	
	消耗品費	4,564	
	新聞図書費	630	
	支払手数料	45,414	
管理費計			62,790
経常費用計			3,202,393
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			-628,288
【C】	経常外収益		0
	固定資産売却益		
	過年度損益修正益		
経常外収益計			0
【D】	経常外費用		0
	固定資産売却損		
	前期分租税公課		192,300
	過年度損益修正損		
経常外費用計			192,300
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			-192,300
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			-820,588
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		2,837,688
次期繰越正味財産額③－④+⑤			2,017,100

令和元年度 貸借対照表

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	1,077,143	
	青少年人間力育成事業用預金	800,220	
	前払費用	220,660	
	流動資産合計・・・①		2,098,023
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産 敷金	500,000	500,000
	固定資産合計・・・②		500,000
【A】	資産合計 ①+②		2,598,023
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	80,923	80,923
	流動負債合計・・・③		80,923
2	固定負債		
	長期借入金	500,000	500,000
	固定負債合計・・・④		500,000
	負債合計 ③+④		580,923
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	2,837,688	
	当期正味財産増減額	-820,588	
	正味財産合計		2,017,100
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		2,598,023